

青少年人口
 男 9,776人 (-20)
 女 9,399人 (-46)
 計 19,175人 (-26)
 令和2年10月1日現在
 ()内は、前年度比

※6歳~24歳人口の合計

あきしまの青少年

NO.261
 2020
 10/15

編集・発行/昭島市青少年問題協議会事務局(子ども家庭部 子ども育成課内) 〒196-8511 昭島市田中町1-17-1 ☎042(544)5111 内線2254

おもな内容

- 1面 アキシマエンスィス 昭島市民図書館・郷土資料館の紹介
- 2面 成人式実行委員募集/子どもと親の家庭教育講座/推薦してください/第60回 たこあげ大会が中止になりました/放課後子ども教室からのお知らせ/子ども家庭支援センター/ひきこもり相談会/4 コマまんが

アキシマエンスィス

昭島市民図書館・郷土資料館の紹介

市民図書館や郷土資料館のほか、教育と児童福祉関連などのさまざまな施設を集約し、市民の交流の場と課題解決を支援する「知の拠点」としてオープンし半年が過ぎました。今回、昭島市民図書館長を取材させていただきました。館長とのお話を交えながら、紹介をします。

図書館に入るとひと際目を引く「アキシマクジラ」が入館された方々を迎えてくれます。

(クジラは何本のワイヤーで固定されているのでしょうか?)

クジラは30本の細い特殊なワイヤーで動きのあるように展示されています。夜になるとブルーでライトアップされ、アキシマクジラが大海原を泳いでいるかのように表現しました。

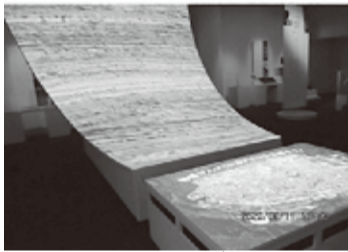
ライトアップされたアキシマクジラも見てみてください。

化石の展示がされています



(同じ館内で図書館と郷土資料館が1対になっているのは他に見ないのですが)

図書館と郷土資料館が1対となっているのは非常に珍しく、この様な作りは昭島市民図書館だけです。資料館の展示品は昭島に関連した物を展示しています。展示によって市の歴史を知っていくことができます。



あっと驚く仕掛けが!!

追伸

出口付近に「ライブラリーカフェ」があります。



サンドイッチ美味しかったよ!!

カフェの近くで親子でゆったりと



本棚や机・イスなどふんだんに木を利用しています。使われている木は長年小学生国内交流をしている岩泉町の木材です。本棚や机・イスに上記写真の木のマークが付いているところがあります。探してみてください。

(近年、パソコンの普及は目覚ましく、ネット検索をすれば、その場である程度の答えが得られる時代になってきました。その様な中、本の魅力がなくなっていませんか?)
 確かにネット検索など、便利だと思います。それに加え本は決して便利ではありません。便利ではない、不便なところが本の魅力なんです。「調べる」ということ。例えば、ある本を手に入れるまでの工程は、どこにあるのか、そこまでどうやって行くのかと考える調べ、そこで、希望の本を確認し手に入れる。この工程が、経験になります。この経験が積みあがって知恵がつくのではないのでしょうか。それが本の魅力だとも思います。

この様にお話を聞くことができたことで改めて本の奥深さを知ることができました。



(椅子がいたる所に配置されていますが) 森の木々に囲まれた感覚で、本に囲まれて、本と1対となって読書ができるようなイメージです。ご自身のお気に入りの場所を見つけてはいかがでしょうか。

(力を入れた事は何ですか) 学生さんの利用です。調べて学習し研究をしたり、グループでの研究研修をしたりと「調べる」学習として活用して頂きたい。



(昭島市民図書館の特徴は)

図書館の中心に丸くなっている場所が「交流ひろば」です。この円形のベンチ。この交流ひろばから、放射線状に流れるように本棚が配置されています。この配置は、中心から「人が集い、交流し、そして創造する。」という流れを表現しました。